

環境経営レポート

(運用期間: 2023年4月～2024年3月)



第15版 発行日: 2024年7月5日



環境省
エコアクション21
認証番号0002868

株式会社NichiRica

環境経営レポート 目次

組織概要	・・・	P1
EA21推進組織	・・・	P2
課題とチャンス	・・・	P3
環境経営方針	・・・	P4
環境経営目標(中期計画)	・・・	P5
活動の取組み(2023年度)	・・・	P7
活動結果	・・・	P8
取組活動の紹介	・・・	P9
活動の取組み(2024年度)	・・・	P10
環境関連法規の遵守状況	・・・	P11
代表者による全体評価	・・・	P12
環境コミュニケーション	・・・	P13

1. 組織概要

1. 事業社名及び代表者名

株式会社NichiRica

代表取締役社長 島 章嘉

2. 所在地

本社・草薙工場 : 静岡市清水区中之郷 3-1-1

営業部・新規営業部 : 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー7階

大阪営業所 : 大阪市生野区桃谷 1-3-23

3. 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 工場長 榑原善和

担当者連絡先 エコアクション21事務局 袴田久登

4. 事業の概要

1. 紙およびプラスチックの加工並びに販売
2. テープの自動貼付機、自動封函機およびその付属品の販売

5. 事業規模

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
製品生産量 ^{※1}	千 m^2	38,062	36,094	35,873	33,600
従業員	人	107	105	104	103
床面積 全体	m^2	10,688	10,711	10,711	10,711
本社工場	m^2	10,540	10,540	10,540	10,540
東京	m^2	95	95	95	95
大阪 ^{※2}	m^2	53	76	76	76

※1 製品生産量とは、弊社塗工機(5号、7号、8号)で塗工された半製品の面積です。

※2 2021年4月24日に大阪市中央区から生野区に移転しました。

6. 事業年度

毎年 4月1日～翌年3月31日

7. 環境経営レポートの運用期間及び発行日

運用期間: 2023年4月1日～2024年3月31日

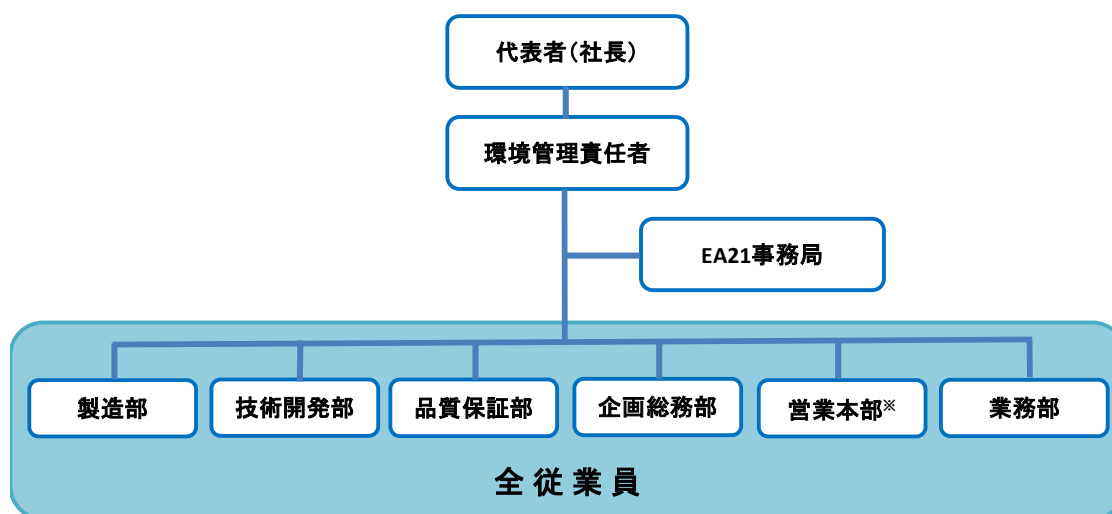
発行日: 2024年7月5日

8. 対象範囲

- 活動 : 1. 紙およびプラスチックの加工並びに販売
2. テープの自動貼付機、自動封函機およびその付属品の販売

対象組織 : 全組織 (本社・草薙工場、営業本部、大阪営業所)

2. EA21 推進組織



※営業本部には、営業部、新規営業部、大阪営業所が含まれます。

役職・組織名	役割・責任・権限
代表者	1. 環境経営方針の策定 2. 経営資源の準備 3. 全体の評価と見直し 4. 環境経営レポートの承認 5. 環境経営目標及び環境活動計画の承認 6. 環境管理責任者の指名 7. 課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	1. EA21システムの確立、実施促進、維持管理 2. 環境負荷及び取組みの自己チェック 3. 環境経営目標及び環境活動計画の策定 4. 環境経営レポートの作成 5. EA21に関する実施把握と報告 6. EA21環境経営マニュアルの作成
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐業務 2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 3. 環境経営目標及び環境活動計画の結果確認 4. 教育、訓練計画の策定と実施(緊急時対応) 5. 環境文書及び記録の作成、管理 6. EA21に関する審議
全従業員	1. 環境活動計画の実施 2. 問題点の是正

3. 課題とチャンス

1. 課題とチャンス

	課題	チャンス
外部	・原材料費の上昇 ・エネルギーコストの上昇	・脱プラスチック製品の需要 ・バイオマス度の高い製品の需要
内部	・生産量の減少 ・7・8号コーターのエネルギー原単位の改善	・コストダウンによる競争力向上 ・改善活動による歩留りアップ

2. 環境経営方針と目標への展開

環境経営方針への展開

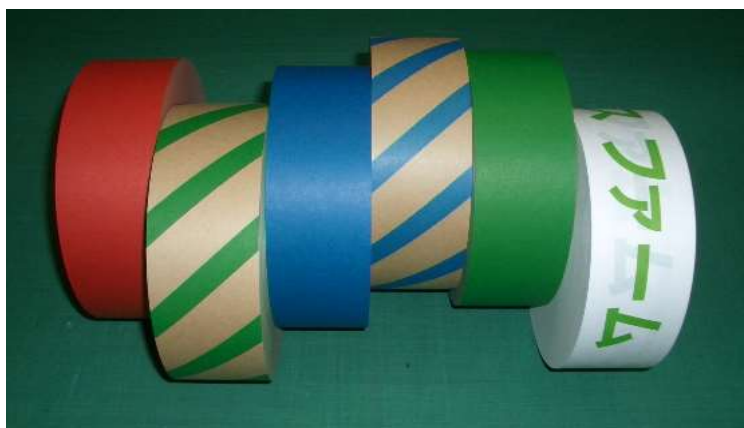
環境に配慮した製品「リカテープ」、「リカセルフ」の拡販

環境経営目標への展開

環境配慮型製品の開発
製造工程での歩留りの改善

※リカテープの特徴

- ① 基材はクラフト紙で、主な用途は梱包用テープです。
- ② 接着剤に澱粉を用いた再湿活性型テープです。
- ③ 一般的な粘着テープと違いシリコン等の離型剤は使いません。
- ④ テープは段ボールと共に、そのままリサイクル可能です。
- ⑤ 紙面に印刷可能なため、識別や広告としてご利用いただけます。
- ⑥ バイオマス度は、85%です。（認定値は89%です）



4. 環境経営方針

基本理念

株式会社NichiRicaは経営理念「誠実・社会貢献・開拓者精神」を原点とし、地球規模の環境保全を実現するために、「事業活動と環境との調和」を重要課題として全従業員の参加による環境保全活動に努める。

基本方針

株式会社NichiRicaは以下の方針に基づき、研究・開発・製造・販売における活動製品及びサービスの提供と環境との調和を目指す。

- 1) 環境経営目標及び環境活動計画を定め、その実現を図ると共に環境経営システムを構築・運用して継続改善に努める。
- 2) 環境関連の法規及びその他の要求事項に適切に対応し、遵守する。
- 3) 環境経営システムの構築・取組みを適切に実行するために従業員に必要な教育・訓練を実施する。
- 4) 環境経営レポートを作成し、公表する。
また、社外からの環境に対する苦情や要望を受け、必要な対応を行う。
- 5) 重要施策として以下の項目に取組み地球温暖化防止・資源の有効活用・環境汚染の予防推進に努める。
 - ① 温室効果ガスの排出削減を図る。
 - ② 産業廃棄物の発生を削減する。
 - ③ 排水を管理し、地域の環境の改善と保全に努める。
 - ④ 環境関連物質及び製品含有化学物質を管理し、使用の削減・廃止に努める。
 - ⑤ 環境に配慮した製品の開発および拡販に努める。

制定日 2007年10月1日

見直し 2023年6月26日

代表取締役社長 島 章嘉

5(1). 環境経営目標(2023年度まで)

項目	環境経営目標
1. 二酸化炭素排出量	2019年度の実績値を基準として 2023年度末までに原単位で4%以上削減する。
2. 廃棄物排出量	
3. 総排水量削減	
4. 環境関連物質 及び製品含有化学物質	
5. 環境に配慮した製品	環境にやさしい製品「リカテープ」に関する情報を積極的に提供する。

具体的な数値目標とその実績

項目		年度		2019	2020	2021	2022	2023	
		目標	単位	基準	-1%	-2%	-3%	-4%	
1. 二酸化炭素排出量※ ¹	内訳	目標値	t/1千万㎡	559	554	548	542	537	
		実績値	t/1千万㎡	559	576	601	620	606	
		対基準	% ※ ⁷	--	+3%	+8%	+11%	+8%	
		CO2量	ton	2,429	2,415	2,171	2,223	2,036	
		電気※ ²	使用量	kWh/年	2,217,748	2,025,810	2,072,458	2,117,434	2,067,366
			CO2量	ton	945	863	883	902	881
			目標値	t/1千万㎡	218	215	213	211	209
			実績値	t/1千万㎡	218	227	245	251	262
		対基準	%	--	+4%	+12%	+15%	+20%	
		ガス	使用量	㎡/年	681,254	611,249	593,046	607,524	530,737
			CO2量	ton	1,472	1,320	1,281	1,312	1,146
			目標値	t/1千万㎡	339	336	332	329	325
			実績値	t/1千万㎡	339	347	355	366	341
		対基準	%	--	+2%	+5%	+8%	+1%	
		ガソリン	使用量	L/年	5,235	3,518	2,915	3,517	3,458
			CO2量	ton	12	8	7	8	8
			目標値	t/1千万㎡	2.76	2.73	2.70	2.68	2.65
			実績値	t/1千万㎡	2.76	2.15	1.88	2.28	2.39
		対基準	%	--	-22%	-32%	-18%	-13%	
2. 廃棄物排出量	紙ごみ※ ³	目標値	t/1千万㎡	95.3	94.3	93.4	92.4	91.5	
		実績値	t/1千万㎡	95.3	103.9	94.5	93.5	100.3	
		対基準	%	--	+9%	-1%	-2%	+5%	
		排出量	t/年	398	377	322	317	317	
3. 水使用量	工業用水※ ⁴	目標値	t/1千万㎡	7,646	7,570	7,493	7,417	7,340	
		実績値	t/1千万㎡	7,646	8,940	7,819	7,821	8,493	
		対基準	%	--	+17%	+2%	+2%	+11%	
		使用量	t/年	31,938	32,424	26,638	26,513	26,839	
4. 環境関連物質及び製品含有物質	トルエン※ ⁵	目標値	ton/1千万㎡	133	132	130	129	128	
		実績値	ton/1千万㎡	133	134	169	182	175	
		対基準	%	--	+1%	+27%	+37%	+32%	
		排出量	ton/年	17	14	20	27	25	
5. 環境に配慮した製品									
		実績	千万㎡	2.112	1.990	1.836	1.779	1.493	
		前年比	%	12%	-6%	-8%	-3%	-16%	
		実績	万㎡	0	0	6	3	2	
		前年比	%	--	--	--	-48%	-37%	
参考:製品生産量※ ⁶		実績	千万㎡	4.344	3.806	3.609	3.587	3.360	
		うち5CO	千万㎡	4.177	3.627	3.407	3.390	3.160	
		うち7・8CO	千万㎡	0.167	0.179	0.202	0.197	0.200	
		うちトルエン使用	千万㎡	0.125	0.108	0.119	0.148	0.141	
		全体前年比	%	6%	-12%	-5%	-1%	-6%	

※¹ CO2原単位=CO2排出量÷(5+7+8号コーター生産量)

※² 電力の排出係数は中部電力(2019年度)調整後排出係数の「0.426kg-CO2/kwh」を使用。

※³ 廃棄物の原単位=紙ごみ量÷5号コーター生産量

※⁴ 排水の原単位=工業用水使用量÷5号コーター生産量

※⁵ トルエン原単位=トルエン使用量÷トルエン添加製品加工量

5(2). 環境経営目標(2024年度からの中期計画)

項目	環境経営目標
1. 二酸化炭素排出量	2023年度の実績値を基準として 2027年度末までに原単位で4%以上削減する。
2. 廃棄物排出量	
3. 総排水量削減	
4. 環境関連物質 及び製品含有化学物質	
5. 環境に配慮した製品	環境に配慮した製品の開発・生産・販売を推進する。 包装用ガムテープの販売量は2023年度実績値を2027年まで維持する。

具体的な数値目標とその実績

項目		年度		2023	2024	2025	2026	2027	
		目標	単位	基準	-1%	-2%	-3%	-4%	
1. 二酸化炭素排出量※ ¹	内訳	目標値	t/1千万㎡	606	600	594	588	582	
		実績値	t/1千万㎡	606					
		対基準	% ※ ⁷	----					
		CO2量	ton	2,036					
		電気※ ²	使用量	kWh/年	2,067,366				
			CO2量	ton	881				
			目標値	t/1千万㎡	262	259	257	254	252
			実績値	t/1千万㎡	262				
		対基準	%	----					
		ガス	使用量	㎡/年	530,737				
			CO2量	ton	1,146				
			目標値	t/1千万㎡	341	338	334	331	327
			実績値	t/1千万㎡	341				
		対基準	%	----					
		ガソリン	使用量	L/年	3,458				
			CO2量	ton	8				
			目標値	t/1千万㎡	2.39	2.37	2.34	2.32	2.29
			実績値	t/1千万㎡	2.39				
		対基準	%	----					
2. 廃棄物排出量	紙ごみ※ ³	目標値	t/1千万㎡	100.3	99.3	98.3	97.3	96.3	
		実績値	t/1千万㎡	100.3					
		対基準	%	----					
		排出量	t/年	317					
3. 水使用量	工業用水※ ⁴	目標値	t/1千万㎡	8,493	8,408	8,323	8,238	8,153	
		実績値	t/1千万㎡	8,493					
		対基準	%	----					
		排出量	t/年	26,839					
4. 環境関連物質及び製品含有物質	トルエン※ ⁵	目標値	ton/1千万㎡	175	173	172	170	168	
		実績値	ton/1千万㎡	175					
		対基準	%	----					
		排出量	ton/年	25					
5. 環境に配慮した製品 包装用ガムテープ		目標値	千万㎡	1.493	1.493	1.493	1.493	1.493	
		実績	千万㎡	1.493					
		前年比	%	----					
参考：製品生産量※ ⁶		実績	千万㎡	3.360					
		うち5CO	千万㎡	3.160					
		うち7・8CO	千万㎡	0.200					
		うちトルエン使用	千万㎡	0.141					
		全体前年比	%	----					

※¹ CO2原単位=CO2排出量÷(5+7+8号コーター生産量)

※² 電力の排出係数は中部電力(2019年度)調整後排出係数の「0.426kg-CO2/kwh」を使用。

※³ 廃棄物の原単位=紙ごみ量÷5号コーター生産量

※⁴ 排水の原単位=工業用水使用量÷5号コーター生産量

※⁵ トルエン原単位=トルエン使用量÷トルエン添加製品加工量

6. 活動の取組み（2023年度）

P:計画 A:実績

分類	取組計画	◎責任 ○関連部署							年	2023												2024			
大分類	具体的な取組計画	事務局	工務課	営業本部	企画総務部	製造部	品質保証部	技術開発部	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	評価			
CO2排出量削減	蒸気漏れの点検 (ガス使用量削減)	○	◎			○			P A														○		
CO2排出量削減	エアー配管のエアー漏れ点検 (電気使用量削減)		◎			○			P A														○		
CO2排出量削減	グリーンカーテンの設置 (電気使用量削減)				◎				P A														○		
CO2排出量削減	7M/Cと8M/Cの空調運転時間削減 (電気使用量削減)		○			◎			P A														○		
CO2排出量削減	蒸気配管の保温材点検と修繕 (ガス使用量削減)		◎			○			P A														○		
CO2排出量削減	出張時は公共交通機関の利用を奨励 (ガソリン使用量削減)			◎	○	○	○	○	P A														○		
排水量削減	上水道及び工業用水の配管点検 (水使用量の削減)		◎			○			P A														○		
廃棄物排出量削減	工程調整により塗料替え頻度の削減 (廃棄塗料の削減)					◎			P A														○		
廃棄物排出量削減	スリット歩留りの改善 (紙くずの削減)					◎			P A														○		
環境配慮製品	テープディスペンサーの販路開拓 環境配慮型製品(リカテープ)の拡販			◎					P A														○		
環境配慮製品	プラスチック製結束材からの置き換え 環境配慮型製品(リカセルフ)の拡販			◎					P A														○		
河川汚染予防	塗料流出を予防する訓練				○	◎	○	○	P A														○		
地域の環境保全	RTOの整備		◎			○			P A														○		
地域の環境保全	当番課が毎週月曜日に工場内外の清掃を行う		○		◎	○	○	○	P A														○		

7. 活動結果

項目	概要	排出量	原単位	判定	原因	対応
二酸化炭素排出量	・実排出量は2,223トンで、基準年比で206トン(約8%)減少した。 ・原単位目標値(基準-3%)に対し、+11%となり未達。	CO2排出量	CO2排出 原単位	×	【推定原因】 電力・ガスの使用量が基準年比で、それぞれ7%・22%減少したが、生産量はそれ以上の23%減少したため、原単位の改善が見られなかった。	引き続き電力使用の効率化を図る。
廃棄物排出量	・実排出量は317トンで、基準年比で81トン(約20%)減少した。 ・原単位目標値(基準-3%)に対し、-2%となり未達。	廃棄物排出量	廃棄物排出 原単位	×	2023年度は不具合品の処分が有り、原単位に不利な結果となった。	継続してロス削減に取り組む。
水使用量	・水使用量は26,513トンで、基準年比5,425トン(17%)減少した。 ・原単位目標値(基準-3%)に対し、+2%で未達となった。	水使用量	水使用量 原単位	×	工業用水の使用量は横ばいだったが、生産量減少のため、目標とする原単位はクリアできなかった。	工場全体で節水を継続する。
環境関連物質及び製品含有化学物質(トルエン)	・トルエン使用量は、27トンで基準年比約10トン(約60%)増加した。 ・原単位目標値(基準-3%)に対し、37%増で目標未達。	環境関連物質使用量	環境関連物質 原単位	×	受託加工品にトルエンが指定されている品種があり、21年からこの生産量が増えたため、トルエン使用量が増加した。弊社製品で使用するトルエンは微量。	新規受託品の場合は、顧客にトルエン代替溶剤の検討を依頼する。
環境に配慮した製品	包装用「リカテープ」は19年までの増加傾向から、20年には減少に転じた。 21年から園芸用結束テープ「リカセルフ」の販売を開始した。	包装用リカテープの販売量	園芸用結束テープリカセルフの販売量	-	「リカテープ」の競合品(クラフト粘着テープ)の参入により、販売量が減少した。	「リカテープ」「リカセルフ」の用途開拓を継続的に行う。
参考	製品生産量 環境関連物質	製品生産量	参考 環境関連物質 原単位 2019年の品種が対象	-	2019年の品種構成を基準にした時、原単位の改善が見られた。	---

8. 取組活動写真

緊急事態対応訓練

消火器による消火訓練

2023年10月23日



緊急事態対応訓練

消火栓を使った消火訓練

2023年10月23日



環境事故対応訓練

化学薬品の流出を防ぐための対応訓練を行った。

2023年10月23日



- ①薬品ドラムが転倒したことを想定した訓練。
側溝に土のうを入れて薬品の流れを止めた
- ②薬品を水中ポンプで吸い上げた。
- ③薬品をドラム缶に回収した。

ボイラーの更新

省エネ型ボイラーへの変更

2023年8月20日



9. 次年度の取組み（2024年度）

P:計画 A:実績

分類	取組計画	◎責任 ○関連部署						年	2024												2025	
大分類	具体的な取組計画	事務局	工務課	営業本部	企画総務部	製造部	品質保証部	技術開発部	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	評価
CO2排出量削減	蒸気漏れの点検 (ガス使用量削減)	○	◎			○			P A													
CO2排出量削減	エアー配管のエアー漏れ点検 (電気使用量削減)		◎			○			P A													
CO2排出量削減	グリーンカーテンの設置 (電気使用量削減)				◎				P A													
CO2排出量削減	7M/Cと8M/Cの空調運転時間削減 (電気使用量削減)		○			◎			P A													
CO2排出量削減	蒸気配管の保温材点検と修繕 (ガス使用量削減)		◎			○			P A													
CO2排出量削減	出張時は公共交通機関の利用を奨励 (ガソリン使用量削減)			◎	○	○	○	○	P A													
排水量削減	上水道及び工業用水の配管点検 (水使用量の削減)		◎			○			P A													
廃棄物排出量削減	工程調整により塗料替え頻度の削減 (廃棄塗料の削減)					◎			P A													
廃棄物排出量削減	スリット歩留りの改善 (紙くずの削減)					◎			P A													
環境配慮製品	テープディスペンサーの販路開拓 環境配慮型製品(リカテープ)の拡販			◎					P A													

10. 環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟の有無

9-1.環境関連法規等の遵守状況

確認日：2023/6/26

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

	法令・条例	主要な施設、作業、物質	実施事項	測定・実施	結果	確認	備考
1	大気汚染防止法	ばい煙発生施設	届出	2023/5/12	○	中嶋	特定施設の届出(ボイラー 4台)
		VOC発生施設	VOC測定	2023/11/24	○	中嶋	VOC測定(年1回)
2	水質汚濁防止法	特定施設、貯油施設 排水処理施設、排水	水質調査	2023/9/18	○	中嶋	特定施設なし 有害物質は28種
3	騒音規制法	特定施設、騒音発生	測定	2023/5/25	○	中嶋	7.5kW↑のコンプレッサー
4	静岡県生活環境の 保全等に関する条例	特定施設、騒音発生	測定	-	○	中嶋	3.75kW↑のコンプレッサー (7.5kW以下の該当施設なし)
5	振動規制法	特定施設、特定建設作業 振動発生	測定	2023/5/24	○	中嶋	7.5kW↑のコンプレッサー
6	省エネ法	エネルギー使用状況の届出 中長期計画書の提出	報告書 提出	2023/10/6	○	中嶋	第二種エネルギー指定管理工場
7	廃棄物処理法	産業・一般廃棄物排出 廃棄物収集運搬	適正処理	-	○	富川	マニフェスト伝票による管理
8	静岡県産業廃棄物の適正 な処理に関する条例	中間処理業者への現地確認	報告書 作成	-	○	富川	
9	化管法 (PRTR)	第1種、第2種指定化学物質 取扱(当社は4物質が該当)	報告書 提出	2023/4/27	○	袴田	特定化学物質の環境への 排出量の把握(静岡県へ報告)
10	消防法	危険物、指定可燃物 消防活動阻害物質使用	届出	2023/5/26	○	中嶋	危険物取扱所・貯蔵所の届出 消防設備の点検(年2回)
11	高圧ガス保安法	高圧ガス貯蔵、消費	点検	2023/3/28 2023/9/6	○	金子	液体窒素 定期点検(年2回) 2024/3/30撤去
12	毒物劇物取締法	毒物、劇物保管、使用	保管	-	○	袴田	
13	PCB特措法	PCB廃棄物保管、処理	調査 処理	-	○	中嶋	蛍光灯安定器の処分完了
14	フロン排出抑制法	業務用空調 冷凍冷蔵庫等フロン使用機器	点検 記録	2023/5/16	○	中嶋	7.5kW↑3年毎の定期点検 3か月毎の簡易点検
15	資源有効利用促進法	3R推進 循環型社会の形成	3R活動	-	○	袴田	
16	温暖化対策推進法 (温対法)	温室効果ガス排出削減 計画書・報告書	非該当	-	○	中嶋	温室効果ガス排出量合計 がCO ₂ 換算で3,000t以上の場合
17	静岡県地球温暖化防止条 例	温室効果ガス排出削減 計画書・報告書	報告書 提出	2023/6/29	○	中嶋	

9-2.違反、訴訟の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

評価	CO2排出量、廃棄物排出量、水使用量は、減少したが、それを上回る生産量の減少となり、原単位の目標は未達となった。 あらゆるロスを見える化し、生産性の向上を図る必要がある。
指示	2024年度以降の目標は 2023年度の実績値を基準とし 2027年度末までに、原単位で4%の削減を行う。

2024年6月28日

株式会社NichiRica

代表取締役社長 島 章嘉

12. 環境コミュニケーション受付表

記載日: 2024年3月31日

作成・管理担当: 袴田

過去3年の間で、外部から当社への通報及び苦情はありませんでした。

通報があった場合は、下記の書式で運用いたします。

No.	情報入手日	情報種類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容 (再発防止策)
					連絡先			
1	/	対策・ 苦情		電話・ メール ()			必要・ 不要	
2	/	対策・ 苦情		電話・ メール ()			必要・ 不要	
3	/	対策・ 苦情		電話・ メール ()			必要・ 不要	
4	/	対策・ 苦情		電話・ メール ()			必要・ 不要	
5	/	対策・ 苦情		電話・ メール ()			必要・ 不要	